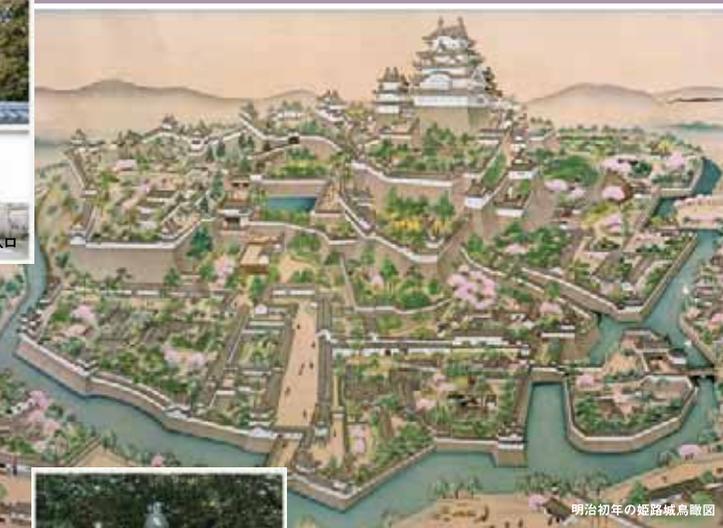




# お城のお膝元・三ノ丸あたり

江戸時代は多くの建物や櫓が建ち並んだ三ノ丸、明治時代は陸軍駐屯地、今は市民のいこいの広場に。想像力を働かせながら姫路城をぐるっとめぐってみましょう。



所要時間：約 35 分 (見学時間含まず)



# お城のお膝元・三の丸あたり

江戸時代は多くの建物や櫓が建ち並んだ三ノ丸、明治時代は陸軍駐屯地、今は市民のいこいの広場に。想像力を働かせながら姫路城をぐるっとめぐってみましょう。



## 1 中山里曲輪

### 穴太積の石垣

中山里曲輪の北方には巨大な石で築かれた穴太積の石垣があります。この石垣は秀吉時代のもので、秀吉が入城時、安土城の石垣を築いた近江国の穴太衆に築かせたものではないかといわれています。

### 天守の庭

中山里曲輪にある天守の庭には、昭和の大修理の時、取り出された天守台の礎石がそのまま展示してあります。姫路城の天守は地盤沈下をおこしており、そのままでは倒壊の危険があったため、現在はコンクリートの基礎が入っています。

## 2 西大柱

昭和の大修理で取り外された姫路城大天守の西大柱が展示してあります。

## 3 女坂

本多時代以降、坂の上には城主の居城が置かれました。この坂はそこで働く女中が利用するいわば勝手口。着物の女性が歩きやすいように蹴上げを低く踏み面を広く作られています。

## 4 御本城跡

城主は天守南の備前丸の館で暮らしていましたが、本多時代以降は三ノ丸の高台の屋敷で暮らしており、御本城と呼ばれていました。江戸時代の藩士たちの「お城」とは、ここを指しました。

## 5 鷺山口門跡

鷺山口門は姫路城から姫山原始林への唯一の門で、門外には南勢隠門脇の堀端へ降りる石段があります。

## 6 武蔵野御殿跡

武蔵野御殿は千姫が暮らしたといわれ、屋敷内の襖にススキが描かれていたので、この名があるといわれます。千姫は義父・本多忠政より西ノ丸屋敷に住むようにいわれましたが、義父さんより高い場所に住むのは恐れ多いと、ここに暮らしたとか…。



城下町の歴史ある神社や建築物を巡って新たな発見をしよう!

## 12 姫山公園

大正元年、姫路城が一般公開されたのを期に公園となった姫山公園。今日では朝の散歩やジョギングコースとして親しまれ、早朝には近所のお年寄りラジオ体操をしに集まってきます。

## 13 南勢隠門跡

南勢隠門は勢隠曲輪の南を守る城門で、傍らの堀には置き石が沈められ、鷺山口から降りて来た兵は歩いてここを渡ることができたといわれています。

## 7 御向屋敷跡

御向屋敷とは城主の下屋敷で、本城の向かいにあることからその名があります。御向屋敷には池や築山・茶室などがあり城主のくつろぎの場でした。

## 8 立堀

姫路城三ノ丸と東三ノ丸を結ぶ小径は昭和に入ってから作られたものです。江戸時代には通れませんでした。これは大手門からの攻め手と搦手門からの攻め手を分断するためのもので崖下まで立堀が穿たれていました。

## 10 搦手口

姫路城の裏門にあたる搦手口は秀吉時代には正門だったといわれ、天守に最も近い「とノ四門」は赤松氏の居城・置塩城の大手門を移築したものといわれています。この搦手口は中世の風情が漂い、秀吉の時代には福島正則や加藤清正といった武将がこの石段を駆け上がっていたのかもしれない。

## 11 姫路神社

姫路神社は姫路城最期の城主・酒井家の藩祖・酒井正親公をお祀りした神社で、傍らには幕末、藩政改革を行った名家老・河合寸翁を祭った寸翁神社があり学問成就の神様として崇敬を集めます。

## 14 好古園

好古園は城主の下屋敷である西御屋敷跡に造られた池泉回遊式の庭園。園内には武家屋敷の町並が再現され、映画やドラマのロケも行われています。入場は有料ですので、姫路城との共通入場券がお得です。

国道2号線

大手前通り

大手前



## ちょっと寄り道。

### A 姫路市立動物園

小さなお子様連れの方にお薦めなのが「姫路市立動物園」。姫路城内濠の中にあるこの動物園は昭和の時代のままのレトロな動物園で、しばしば映画やテレビのロケにも使われます。かつて「きりん」と「ぞう」の檻あたりには内濠が流れていて、姫路城の補修作業をする職人の町でした。隠れた姫路城の絶景スポット。



### B 活水軒

ちょっとお腹がすいたぞという方には、好古園内にあるレストラン「活水軒」の穴子重セットがおすすめ。播磨灘でとれた穴子は絶品で、旬の野菜をつかった天ぷら、播磨産の「揖保の糸」のにゅうめんも味わえます。姫路らしい昼食をどうぞ。

